令和８年度　設置科目説明　２年次

【必修科目（共通)】

（１）国語

（設置科目）　論理国語　２単位

（授業内容等）１年次の現代の国語のように評論文の読解を中心に行います。また複数の文章を読み比べて、視野を広げられるようにします。定期考査とは別にレポート等の課題を提出してもらうこともあります。

（２）地理歴史

（設置科目）　地理総合　２単位

（授業内容等）主に「系統地理学」（地形、気候、産業、農業、植生等）の観点から世界の国々や地域を考察・研究していく。また、地理情報システムの活用や、近年増加傾向にある大規模災害に備えるべく防災に関しても地理的観点から学習する。

（３）理科

（設置科目）　生物基礎　２単位

（授業内容等）生物や生物現象について理解を深めるために、日常生活や社会との関連を図りながら学習をすすめる。授業では知識だけでなく、科学的に探究するために必要な、基本的な技能も身に付ける。そのための観察・実験では、１人１台の顕微鏡を用いたり、実物に触れる機会を通したりして、自ら考え、科学的に探究する力を養う。

（４）保健体育

（設置科目）　体育　３単位

（授業内容等）運動種目や体つくり運動の実践、体育理論の学習を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質･能力を育成することを目指す。

（設置科目）　保健　１単位

（授業内容等）「生涯を通じる健康」「健康を支える環境づくり」の学習を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成することを目指す。

（５）芸術　　※１年次から継続する１科目を選択

（設置科目）　音楽Ⅱ　２単位

（授業内容等）音楽Ⅰから更に発展した内容を扱う。歌唱は外国語の作品を主に扱い、合唱も難易度の高い作品を取り上げる。器楽ではアンサンブルに取り組む。各自が得意としている楽器、または新しい楽器や歌に取り組み発表・意見交換をおこなう。音楽系の進学先を考えている生徒は早めに相談すること。

（設置科目）　美術Ⅱ　２単位
（授業内容等）〈絵画・色彩構成〉自画像を制作する。対象を客観的に把握し描写する力を高め、自己の心情や内面を表現する力を高める。
〈立体デザイン〉テーマに基づいた形を考え、塑造によって立体として表現し、感性を養う。

（設置科目）　書道Ⅱ　２単位
（授業内容等）書道Ⅱでは「漢字の書」において篆書、隷書、草書の古典について学習を行います。各々の書体の成立に関わる歴史的背景や特徴等について理解を深めていきます。篆刻においては篆書の学習を活かし、姓名印の作成を行います。「漢字仮名交じりの書」については学習してきた書体や書風を活かした作品制作を行い、鑑賞をすることで書作品の持つ美の理解を深めます。

（６）外国語
（設置科目）　英語コミュニケーションⅡ　３単位
（授業内容等）「英語コミュニケーションⅠ」の学習を踏まえ，五つの領域別の言語活動及び複数の領域を効果的に関連付けた統合的な言語活動を通して，「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと［やりとり］、［発表］」、「書くこと」を発展的に学習する。既習の語句や文構造、文法事項などの基礎の定着の徹底と、それをもとにより多様になる語彙や表現などを用いて，生徒が自分の考えなどを表現する際にそれらを話したり書いたりして表現できるようになることを目指す。

（設置科目）　論理・表現Ⅱ　２単位
（授業内容等）「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ，三つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して，「話すこと［やり取り］」，「話すこと［発表］」，「書くこと」を中心とした発信能力の育成を発展的に行う。１年次に定着させた文構造や文法事項をもとに論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして詳しく伝える又は伝え合うことなどができるようになることを目指す。

（７）家庭
（設置科目）　家庭基礎　２単位
（授業内容等）人の一生と家族福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識の習得、及び技術の習得をめざします。また、家庭や地域社会における生活上の問題について課題を見つけ、自ら考え表現する力を養います。

（８）総合的な探究の時間　１単位
（授業内容等）１年次には自身の興味・関心に基づく課題の探究を通して探究活動のプロセスを学びました。２学年では自己と学問、社会へのつながりの関連性を意識することでさらに高度な探究活動を目指します。自身の興味を持ったことに「学問」を通して課題化することで、自身がどのような知識を身につけていきたいかを意識し、自身の進路と結びつけながら探究活動を行います。

【必修科目（文系）】

（１）国語

（設置科目）　古典探究　３単位

（授業内容等）古典作品に触れ、先人の考え方や行動から当時の日本文化を学びます。また現代との比較をすることで、自身の考えに幅や深みを出せるようにします。

（２）数学

（設置科目）　数学Ⅱ　３単位

（授業内容等）「式と証明」、「複素数と方程式」、「図形と方程式」、「三角関数」、「指数関数と対数関数」、「微分法と積分法」を学習する。数学Ⅰで学習した実数の応用である「複素数」や、三角比の応用である「三角関数」等、数学Ⅱの内容は数学Ⅰの内容の延長である。数学Ⅱは文系、理系に関わらず、全員が履修することになる。

（３）理科

（設置科目）　地学基礎　２単位

（授業内容等）地球や地球を取り巻く環境について日常生活と関連を図りながら理解するとともに、科学的に探究していくために必要な資質、能力を養っていく。また、自然災害の特徴を理解し、今後の災害への対策や、自然環境の保全に寄与できるよう学習する。

【選択科目（文系）】

（１）地理歴史　※次の中から１科目を選択

（設置科目）　日本史探究　２単位

（設置科目）　世界史探究　２単位

（授業内容等）両科目ともに２年次は古代（つまり、教科書の最初）から授業が展開される。両科目とも２年次では古代史・中世史を中心に学習する。歴史は過去の事象や人物から研究・分析し、現代や未来を考察する学問である。２年次では古代・中世を中心に、日本史・世界史それぞれの観点から考察を深めていく。また、３年次の両科目は、２年次に終了した場所（つまり、２年次の続き）から授業が展開される。このため、２年次と異なる科目を選択することは原則できない。２年次で選択した科目を３年次でも原則選択することになる。

【必修科目（理系）】

（Ｉ）数学

（設置科目）　数学Ⅱ　５単位

（授業内容等）「式と証明」、「複素数と方程式」、「図形と方程式」、「三角関数」、「指数関数と対数関数」、「微分法と積分法」を学習する。数学Ｉで学習した実数の応用である「複素数」や、三角比の応用である「三角関数」等、数学Ⅱの内容は数学Ｉの内容の延長である。数学Ⅱは文系、理系に関わらず、全員が履修することになる。３年次に理系Ｂを選択した場合に履修する数学Ⅲの内容の土台となる。

（設置科目）　数学Ｂ　２単位

（授業内容等）「数列」、「統計的な推測」、「数学と社会生活」を学習する。「数列」では、数を一列に並べた「数列」について、その規則性から数列を表す式や数列の和の性質を調べる。「統計的な推測」では、数学Ｉで学習した「データの分析」をさらに発展させ、データの一部からその全体を推測する方法を学ぶ。「数学と社会生活」では、社会生活に数学を活用していく場面を具体的に考えていく。数学Ｂは理系を選択した者のみ履修することができる。

（３）理科

（設置科目）　物理基礎　３単位

（授業内容等）物体について、その運動や様々なエネルギーに関わり、日常生活や社会との関連を図りながら学習をする。また、理科としての見方・考え方を働かせ、見通しを持って現象を科学的に探究していくために必要な資質・能力を養っていく。